

革の種類

- 動物の革…一般的な牛革のほかにも、鹿や豚など様々な種類の動物革があります。
風合いや特徴がそれぞれ違うので、アイテムによって使い分けできるとベストです。

種類	概要
牛	一番手に入りやすく、丈夫で厚みのある革。牛の年齢により性質や呼び名が変わる。 柔らかい子牛の革「カーフ」、成牛の革「カウハイド」などがある
鹿	クロムなめしが一般的で、柔らかく強度の高い革。服やバッグに使われる。薄手の「ディアスキン」や、厚手で大きな「エルクスキン」に分けられる
豚	シボと三角形に並んだ毛穴が特徴的で、比較的固くて摩擦に強い革。 薄くて軽いので、バッグの内張りなどにも好んで使われる
羊	繊維が細かく、柔らかで軽い革。平らできめ細かいギン面を持ち、手触りが滑らかな為、服飾品などに使われる
山羊	ギン面のワイルドなシボが特徴で、繊維が細かく柔らかい革。羊よりも厚手で、ギン面の耐久性も高いので、バッグや服飾品に使われる

- ギン付き革…最もベーシックな、ギン面が付いたタンニンなめしの革のこと。
仕上げの方法によっていくつかのバリエーションに分かれます。

種類	概要
ヌメ革	表面の加工や染色を一切していない革。経年変化が大きく、水分、油分を吸いやすいので取り扱いに気を付ける
オイルレザー	オイルを程よく染み込ませて仕上げた革。ヌメ革と比べると、柔らかく水や汚れに強いことが特徴
染め革	染料で染めた革。表面だけ染める場合と、内部まで染めた切り口の色の変わらない「芯通し」染めがある

- 起毛革…クロムなめしが一般的で、革の繊維をわざと毛羽立たせ、きれいに整えた革です。
手触りが良く、傷も目立たないのでお手入れが楽なのも特徴です。

種類	概要
スエード	トコ面をヤスリなどで起毛させた革。ビロードのような心地の良い手触り
ヌバック	ギン面を削って起毛させた革。細かい毛足と滑らかな手触りを持つ
ベロア	ギン面の無い革で、トコ面を起毛させた革。比較的毛足が長いのが特徴
バックスキン	オス鹿の革のギン面を削って起毛させた革。名前の「バック」はオス鹿を意味する

- 表面加工…ギン面に表情を付けるために、表面に特別な加工をすることがあります。
バリエーションが豊かで色々な革が楽しめます。

種類	概要
素上げ	表面加工を一切していない革。表面を加工した革と区別する際にこう呼ばれる
アニリン仕上げ	染料で染色し、表面にクリアの皮膜を薄く施す仕上げ。革の風合いが残り、透明感とツヤが出る
顔料仕上げ	表面に顔料を載せる仕上げ。発色が良く、汚れが付着しても落としやすいのが特徴
グレージング仕上げ	タンニン革の表面をガラスやローラーで磨く仕上げ
揉み加工	揉むことで細かいシボを付ける仕上げ
シュリンク仕上げ	なめしの過程で、特殊な薬剤でシボを作り出す仕上げ
型押し仕上げ	エンボス仕上げとも呼ばれる。タンニン革のギン面をプレスし、テクスチャーを付ける仕上げ。 ワニ革などのエキゾチックレザーを真似たり、バスケットの柄をあしらったり、様々な型押し革が売られている